

“世界的な半導体産業の進出”と“新庁舎整備を契機としたまちづくり” 本市の様々な課題に対応し、正のスパイラルを生む好機

本市では・・・

- 若年層を中心とした人口流出
- 中心市街地の拠点性の低下
- 老朽化した建物の更新の停滞
➔10年後には築40年以上の建築物が5割

このままだと・・・

- 建設費高騰等による民間事業者の投資停滞
- 老朽化建物の更新が進まない
- ビジネスチャンスの取り逃がし
災害対応力の停滞
- シビックプライド・都市ブランド力の低下
- 若者・人材が流出
- 都市の安全性・魅力・競争力が低下

エリア価値下降、人口流出、税収減少
(負のスパイラル)

新庁舎整備を契機としたまちづくりを
強力に推進することで・・・

多様な出会い・発見・活動が相互作用し、
新たな物語が生まれる「まち」



エリア価値の上昇、雇用創出、経済波及効果
(正のスパイラル)

都市の安全性・魅力・
競争力の向上

人材の確保・若者の定着

シビックプライド・都市
ブランド力の向上

連鎖的な建替え
・ビジネスチャンスの取込み
・災害対応力の向上

先行プロジェクトの成功に
よる潜在需要の喚起

キーとなるプロジェクト、
チャレンジの成功

まちづくりの
機運が醸成

新庁舎整備

本市を取り巻く状況

■熊本県における半導体産業の集積と経済波及効果(2022年~2031年の10年間)

経済波及効果 10年間累計：11.2兆円

GRP※影響額 10年間累計：5.6兆円

※県内総生産、国のGDPに相当

※出典：九州FG、肥後銀行、地方総研、地方経済総合研究所 推計値より

新規参画企業 国内外の各産業から 240社超 の企業が進出または追加投資

※出典：肥後銀行、地方総研、地方経済総合研究所 集計より

■熊本市における観光客の状況(R7)

観光消費額 1,280億円 前年比 11.0%増

延べ宿泊者数 418万人 3.9%増

入込数 654万7千人 3.8%増

2年連続過去最高

※出典：令和7年熊本市観光統計より

■民間事業者へのサウンディング調査(R6.10~R7.4)

- ・現庁舎跡地の立地の高いポテンシャルを評価
- ・利活用への高い関心

※15社中、14社がハイクラスホテルの誘致が可能と回答

(参考) 天神ビッグバン等による経済波及効果(福岡市)

■市役所建替えを契機とした経済波及効果の試算(R6.2)

県内への経済波及効果 約 4,000億円

売上増加効果(年間) 約 5,000億円

※出典：令和6年肥後銀行、地方経済総合研究所 推計値より

2024基準地価
商業地・住宅地

地価上昇率 全国1位
(都道府県県庁所在地中)

雇用者数

約 2.4 倍増

建替え完了後の
経済活動波及効果

毎年 約8,500億円

出典：(公財)福岡アジア都市研究所 算出値より